

2021 年度実施概要

学校名

新潟県岩船郡栗島浦村立栗島浦中学校

採択活動名

総合的な学習の時間における海洋教育の取組

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 養殖わかめの加工	全学年	総合
2. 健康ウォーク	〃	保体、総合
3. 大謀網漁体験	〃	総合
4. 浜清掃とマリンスポーツ	〃	保体
5. 栗島元気プロジェクト（課題追究学習）	1 学年	総合
6. 海洋教育施設見学	〃	〃
7. わかめ巻き体験	全学年	〃

取り組みの概要

「栗島元気プロジェクト」をテーマとする総合的な学習の時間を、海洋教育の内容や教科指導と関連付けて推進する。1 学期は海洋にかかわる体験学習を重点的に行い、その体験に基づき、2 学期は課題追究学習を行う。設定した課題に対して書籍やインターネット等から情報を収集させ、課題を追究させる。また、3 学期に学習発表会を行い、学習のまとめを行う。以下、主な小単元について記述する。

4 月に行う養殖わかめの加工は、乾燥わかめ等を作る体験学習である。3 日間かけて行われるこの作業は、「海から養殖わかめを引き上げ、ロープから切り離し、よく乾燥させるために割り、乾燥小屋で乾燥したわかめを袋詰め」の一連の作業である。養殖わかめの加工は、栗島で行われる産業の一つである。なお、わかめを切り落とす際に、「めかぶ」や「茎わかめ」の商品も作り、わかめを無駄なく生かすことを学ぶ。

6 月は村の基幹産業である漁業を学ぶため、定置網漁を見学する。定置網漁の漁船に乗船し、箱網という仕組みを教えてもらう。また、魚の種類によっては、船上で魚を締める場合もあり、その様子を観察できる。その後、漁協で陸揚げした魚の仕分けや、魚の皮はぎなどの加工体験をさせていただく。

海岸をきれいにするためのごみ拾いは、生徒会活動として行われ、栗島への漂着ごみにもプラスチックや外国の物が多く含まれることを知る。環境問題に対する関心が高まり、美しい自然を守るためにできることを考える機会となる。

7 月は保健体育の授業の一環として、海での水泳授業やカヌー・サップの体験を実施する。泳力によってグループ分けが行われ、遠泳に挑戦するグループもある。また、着衣泳の経験から緊急時の対応を学ぶ。カヌー・サップの体験は、村営の自然体験学校へ講師を依頼して行う。

2 学期は「海に親しむ」、「海を知る」、「海を守る」、「海を利用する」という海洋教育の 4 つの観点から生徒が追究したい課題を設定させる。「仮説、検証、情報収集、まとめ、発表、振り返り」の学習過程を通して海洋に関わる内容について深く学ぶ。また、10 月末に新潟県水産海洋研究所や新潟県水産振興協会等の施設訪問を行い、見学や講話から、専門的な知識や課題追究の新たな視点等の習得が図られる。

また、11 月にはわかめ巻き作業を行う。翌年 4 月のわかめ採りのための準備である。養殖用ロープにわかめの胞子が付いたタコ糸を養殖ロープに巻きつける作業であり、海水温が下がらないとできないことなどを学ぶ。作業が終わったロープは、その後、海へと運ばれ設置される。地元漁師の協力があるからこそこの活動となる。

3 学期は、学習成果の発表機会を設定する。プレゼンテーション資料を使っでの発表会や、オンラインによる他校との遠隔授業交流での発表会を行う。発表会では、保護者、地域の方々を招待し、講評等をいただく。異世代、並びに他地域の方からの意見は、生徒にとって課題を再度見つめ直す機会となり、海洋に関わる学びの一層の深化へとつながる。



【養殖わかめの加工】



【大謀網漁体験（魚の選別）】



【施設見学】

活動中の写真

デジタルデータにて 2~3 枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)